

## 津別町の今の展開：短期ロードマップ

津別町では、地域資源を有効活用する仕組みづくりのために、地域内エコシステムの構築を目指します。地域内エコシステムの構築にあたっては、令和3（2021）年度に整理した「4つの柱」を段階的に整理しながら実行していきます。

### 地域内エコシステムの構築に向けた「4つの柱」

項目/年度(四半期)	令和3（2021）年度				令和4（2022）年度				令和5（2023）年度			
	①	②	③	④	①	②	③	④	①	②	③	④
【川中】 つべつ木質バイオマスセンター	● 実施設計 (6/3~2/18)				● 建設工事 着手/完了 (6~3月) ● 試運転				● 供用開始			
【川上・川中】 つべつウッドロスマルシェ	● 勉強会の開催 (11/17) ● 勉強会の継続開催、規約・定款等の各種資料の作成及び周知等								● 本格稼働			
【川中・川下】 津別町再生可能エネルギー管理センター	● 運営主体を整備/合意形成 ● 業務内容等の整備/委託・受託 ● 木質ボイラー等の普及啓発								● 業務開始			
【川下】 木質ボイラー導入可能性調査	● 基本・実施設計 (12~3月)				● ボイラー導入 着手/完了 (6~3月)				● 供用開始 (5月以降)			
	● 基本・実施設計 (6/3~1/17)				● 建設工事 ボイラー導入 着手/完了 (6~12月)				● 供用開始			

1  
柱

#### つべつ木質バイオマスセンター

「林地未利用材」の利用体制を整備し、地域の木質バイオマスの利活用によるエネルギーと経済の域内循環、森林整備の促進（造林作業の負担軽減、食害抑制、森林所有者への金銭的な負担軽減）を目指します。令和4（2022）年度では、つべつ木質バイオマスセンターの建設・工事に着手および試験運転を実行し、令和5（2023）年度に稼働を予定しています。

2  
柱

#### つべつウッドロスマルシェ

1柱と関連し、森林整備に資する「林地未利用材」の有効活用と収集する仕組み及び森林所有者への利益還元と森林所有者・地域住民の気運醸成の場づくりの構築を目指します。令和4（2022）年度では、令和3（2021）年度と同様に地域住民等への勉強会や実践講習会を開催し、気運醸成を図り、令和5（2023）年度に本格稼働を予定しています。

3  
柱

#### （仮）津別町再生可能エネルギー管理センター

再生可能エネルギーの利用施設の増加に伴い、エネルギーの維持・管理等を担う公民連携の組織を設置し、誰でも気軽に相談できる窓口の構築を目指します。令和4（2022）年度では、令和3（2021）年度と同様に、再生可能エネルギー管理センターの設立準備（運営主体、担い手の整備と対策等、業務内容の精査）を行いながら、木質バイオマス等の普及啓発を予定しています。

4  
柱

#### 木質ボイラー導入可能性調査

木質バイオマスと木質ボイラーの利用促進と普及啓発を目指します。1柱に関連し、木質バイオマスセンターで製造された木質チップを利用する新たな施設の導入可能性を引き続き探っていきます。また、令和4（2022）年度では、複合施設や木材工芸館「キノス」へのチップボイラーの導入に着手し、令和5（2023）年度には供用を開始していきます。

#### 【発行・お問い合わせ先】

北海道津別町 産業振興課

〒092-0292 北海道網走郡津別町字幸町41番地

津別町役場 産業振興課 再エネ推進係

TEL：0152-76-2151 FAX：0152-76-2976

#### 【協力】

地域内エコシステム事務局

一般社団法人日本森林技術協会  
Japan Forest Technology Association

バイオマス活用システムのベストパートナー株式会社  
森のエネルギー研究所



津別町のイメージキャラクター まる太くん



写真は、旧本岐中学校のグラウンドです！  
中間土場（原木等の保管場所）として今後、有効活用を検討しています！



## 津別町「地域内エコシステム」の構築に向けて

津別町では、「津別町モデル地域創生プラン」の推進を加速化させるため、地域資源である木質バイオマスを活用し、資源・エネルギー・経済の持続的な地域内循環の仕組みづくり「地域内エコシステム」の構築を目指しています。

令和元（2019）年度から令和3（2021）年度の3年間、津別町の「地域内エコシステム」の構築を目指し、原料供給（川上）、燃料製造（川中）、エネルギー利用（川下）の持続可能な実施体制（サプライチェーンの構築）と本プランに掲げている「再生可能エネルギー等の導入促進」として公共施設の木質バイオマスボイラーの導入可能性及び「（仮）津別町再生可能エネルギー管理センター」が運営の組織となる「つべつ木質バイオマスセンター」の建設について、津別町森林バイオマス利用推進協議会において検討・協議を行っています。

※ 林野庁補助事業の令和3（2021）年度「地域内エコシステム」モデル構築事業（事業実施計画の精度向上支援）に応募し、全国25地域のうちの1地域に採択され、上記プランの実現に向けて、協議・検討しました。

#### 津別町森林バイオマス利用推進協議会 構成委員

##### 【委員（オブザーバーも含む）】

- ✓ 津別町
- ✓ 津別地区林業協同組合
- ✓ 北見広域森林組合
- ✓ 津別単板協同組合
- ✓ 津別建設業協会
- ✓ 津別町農業協同組合
- ✓ 津別町ベレット協同組合
- ✓ 北海道森林管理局網走南部森林管理署
- ✓ 北海道オホーツク総合振興局産業振興部 商工労働観光課 林務課
- ✓ 〃 〃 〃
- ✓ 〃 〃 〃 東部森林室
- ✓ 〃 〃 〃 東部森林室兼西部森林室
- ✓ 網走農業改良普及センター 美幌支所

##### 【アドバイザー、協力機関等】

- ✓ 丸玉木材株式会社
- ✓ 地方独立行政法人北海道立総合研究機構
  - エネルギー・環境・地質研究所 資源エネルギー部
  - エネルギー利用グループ
  - 林業試験場 森林経営部経営グループ
  - 林産試験場 利用部バイオマスグループ
  - 北方建築総合研究所 地域研究部地域システムグループ

##### 【事務局】

- ✓ 津別町 産業振興課



会議の開催（議題を検討・協議）



再エネ勉強会の開催（R3.11.17実施）



## 「つべつウッドロスマルシェ」とは

**つべつウッドロスマルシェ**とは、つべつ木質バイオマスセンターの機能の一つである「受入（買取）」事業で、①森林所有者への利益の還元および森林所有者・地域住民の気運醸成の場づくり、②森林整備に資する林地未利用材の有効活用と収集する仕組みづくりの2つを目的に、津別町独自の仕組みとして**令和5（2023）年度より実施を予定**しています。

つべつウッドロスマルシェに木を持ち込むことで、わずかではありますが、収入（お小遣い程度）が得られ、津別町のために役立つことにつながります。



つべつウッドロスマルシェの参加・受入手順（予定）



**ウッドロス(=林地未利用材)**は、津別町生まれの造語だよ！



- 参加・受入れ手順（予定）**
1. 受付①：参加表の作成・提出
  2. 計測①：積載重量の確認
  3. 荷降ろし：規格ごとに降ろす
  4. 計測②：車両重量の確認
  5. 受付②：終了報告・伝票受取

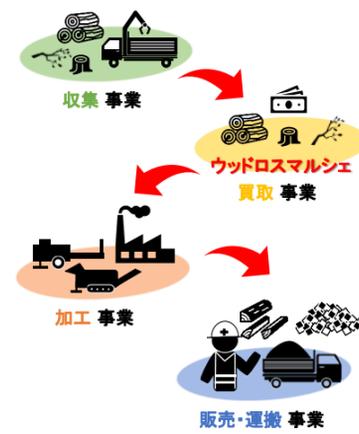
## つべつ木質バイオマスセンターとは？

津別町における森林整備の促進を目指して、地域資源である木質バイオマスを利用し、収集・受入（買取）・チップ加工（薪含む）・販売・運搬等を一手に担う設備として機能する予定です。また、これを運用するのが、（仮）津別町再生可能エネルギーマネジメントセンターで、公民連携の組織を目指しています。

当センターで製造された製品は林業のみならず農業への利用も可能で、産業間での幅広い利活用も視野に入れています。



つべつ木質バイオマスセンター 完成イメージ



## 「つべつウッドロスマルシェ」で受け入れる樹種や買取価格

つべつウッドロスマルシェでは、**規格ごとに林地未利用材等を受け入れし、有価物として買い取る予定**です。また、ご家庭で庭木支障木や剪定枝等も受け入れます。

買い取った材は用途別に加工して、**薪（家庭用ストーブ、キャンプ用、スウェーデントーチ）**や**チップ（エネルギー用、農畜産用）**として利用を予定しています。

また、つべつウッドロスマルシェはどなたでも参加が可能で、受け入れ日程（開催日は未定）に基づき、受け入れ場所（つべつ木質バイオマスセンター）へ搬出をお願いいたします。併せて、「誰が、いつ、どこから、なに」を搬出してきたのかを「つべつウッドロスマルシェ参加記録表」に記載し、提出をお願いする予定です。

さらに、下表と下図はつべつウッドロスマルシェで受け入れを予定している樹種と買取価格の目安です。今後、参加される際の参考にしてください。なお、買取価格については定期的に見直しを行いますので、ご注意ください。

すぐに最大積載量になってしまうんだね！  
意外と積めないんだね。枝条もカサばるんだね。



参加記録表（案）イメージ

★受け入れ樹種・買取価格は目安。定期的な見直しあり★

区分	規格A 低質パルプ等
カラマツ	7,400円/t (2,500円/台)
カラマツ以外 (樹種の混合含む)	5,900円/t (2,000円/台)
受入要件	材長 1.6m～



区分	規格B 追上げ材
カラマツ	3,700円/t (1,200円/台)
カラマツ以外 (樹種の混合含む)	3,000円/t (1,000円/台)
受入要件	材長 20cm～



区分	規格C 末木
カラマツ	1,100円/t (400円/台)
カラマツ以外 (樹種の混合含む)	900円/t (300円/台)
受入要件	材長 1.6m～ 末口 8cm未満



区分	規格D 混合、枝条
カラマツ	700円/t (200円/台)
カラマツ以外 (樹種の混合含む)	700円/t (200円/台)
受入要件	枝条は枝条単体のみ。 枝条と他の規格が混ざっていた場合は引き取りません。



混合のイメージ

枝条のイメージ（最大積載350kg以下）

※1：樹種は、すべて受け入れます。ただし、上記の区分のように分別をお願いいたします。  
 ※2：土や石などではできるだけ、落としてください。  
 ※3：木質ではないもの（ゴミ、鉄、プラスチック等）は混ぜないようにしてください。混ぜた場合は引き取りません。  
 ※4：各規格の金額で、（ ）内の金額は、軽トラック1台の最大積載量（350kg）であった場合の精算金額の目安です。  
 ※5：精算方法は、開催月の翌月にお支払いを想定しています（例えば、毎月20日締め、翌月5日払い）。  
 ※6：規格Dの枝条のは、最大積載350kg以下の写真です。そのほかの写真（規格A・B・C・Dの混合）は、最大積載350kgの写真です。